

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	聖園学園短期大学
設置者名	学校法人聖園学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	保育科	夜・通信	12		53	65	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

授業概要（シラバス）冊子及びHP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/misono_2020syllabus.pdf) での公表

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	聖園学園短期大学
設置者名	学校法人聖園学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.misono-jc.ac.jp/yakuin.htm>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤 桃田 清明	本荘カトリックこども 園園長	2019.4.1 ～2021.9.4	組織運営体制への チェック機能
非常勤 アドリアヌス・ レイングレ・ ハヨン	カトリック多治見教会 主任司祭	2020.4.1 ～2021.9.4	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	聖園学園短期大学
設置者名	学校法人聖園学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画は、当該年度の「授業概要(シラバス)作成マニュアル」に基づき各科目担当者が2月中旬までに作成する。</p> <p>作成した授業計画は、3月上旬に教職・教育課程委員会で科目担当者以外の第三者によるチェックを行い、必要に応じて修正する。</p> <p>作成した授業計画は、新年度4月に学生に配布するとともにHP上で公表する。</p> <p>授業概要(シラバス)の主な項目は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目名、必修選択の別、授業形態、担当者、担当形態、単位数、履修時期 ・授業の概要及び全体目標 ・一般目標及び到達目標 ・授業計画、授業内容 ・成績評価の方法 ・テキスト、参考文献 ・事前・事後学習 ・実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>授業概要(シラバス)冊子及びHP上 http://www.misono-jc.ac.jp/misono_2020syllabus.pdf での公表</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の学修成果の評価は、学則及び履修規程に基づき、FD委員会において点検、共有し、授業概要(シラバス)に記載された成績評価の方法・基準により科目担当者が評価している。その結果を教授会の議を経て単位認定をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、「聖園学園短期大学G P Aに関する規程」に基づきG P Aを算出し、学期毎に「個人G P A」と「学年G P A平均値」を学生にフィードバックし、自らの学修状況の把握を促すとともに保護者へも通知している。</p> <p>G P Aの算出方法や活用方法などのG P Aに関する規程は、学生便覧に記載し学期毎に学生に説明する機会を設け、十分な周知を行っている。</p> <p>また、G P Aの分布状況を作成し、教員間で共有し、成績評価の傾向を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧及びHP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/regulations/03.pdf) での公表</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の教育理念に基づき、保育者養成という社会的ニーズに応えるべく、次のとおりディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を定め、多数の優れた保育者を排出することで適切に実施している。</p> <p>本学の保育者養成を第一義とする建学の精神に鑑み、必要な単位を取得し、下記の要件を備えるに至ったと認められる者に対し、定められた学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間の尊厳を大切にし、他者の立場に立って考え行動する力を身に付けている。 2) 幼児教育に対する意欲と使命感、責任感、探究心を備えている。 3) 子どもの成長や発達等の保育に関する専門的・実践的な知識を修得している。 4) 子どもの健やかな成長を支え、子どもにかかわる様々な問題を解決するために必要な技能や表現力等、実践的な能力を身に付けている。 5) 他者との協調・協働して物事に取り組むことができ、広く社会に貢献しようとする姿勢を身に付けている。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>大学要覧及び学生便覧並びにHP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/kengaku.htm#01) での公表</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	聖園学園短期大学
設置者名	学校法人聖園学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/misono_zaimu-r01.htm) 及び広報誌での公表
収支計算書又は損益計算書	HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/misono_zaimu-r01.htm) 及び広報誌での公表
財産目録	HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/misono_zaimu-r01.htm) 及び広報誌での公表
事業報告書	HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/misono_zaimu-r01.htm) 及び広報誌での公表
監事による監査報告(書)	HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/misono_zaimu-r01.htm) 及び広報誌での公表

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 聖園学園短期大学 対象年度: 令和元年度)
公表方法: HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/keikaku.htm) での公表
中長期計画(名称: 学校法人聖園学園中期計画 対象年度: 令和2年度から令和8年度)
公表方法: HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/keikaku.htm) での公表

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/misono_jikotenken2016.pdf) での公表
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/) での公表
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育科
教育研究上の目的 (公表方法：HP 上 (www.misono-jc.ac.jp/kengaku.htm#01) での公表)
(概要)
1. 建学の精神 本学の建学の精神は、「キリストの愛の心で子どもたち一人一人を大切にしながら幼児を教育する保育者を育成する。」である。本学の経営母体「聖心の布教姉妹会」は、1920年（大正9年）神言会員ヨゼフ・ライネルス師によって創設された邦人カトリック修道女会（当時は「聖心愛子会」と称した）である。同年9月、秋田市に保育所「聖心園」を設立したのを皮切りに、キリストの愛を広め人々を幸せに導くことを目的として日本各地に数々の児童養護施設、保育所、幼稚園、診療・療養所、老人ホーム、母子ホーム等を開設するなど広範な社会福祉活動を展開してきた。中でも幼児・児童の保護や育成には大きな力を尽くしてきたことが活動の特徴であった。その後、1940年（昭和15年）には「日本社会の中堅となる若者たちが、神に支えられ導かれているという信仰と理想に生きる日本人として育ててほしい。」との崇高な理想のもとに修道女会自らが優れた保育者を養成する目的で秋田市保戸野に「聖園保母学園」を創設したのが本学の始まりである。ライネルス師の「若い人たちが、キリストの愛の心で子どもたち一人一人を大切にしながら幼児を教育するようになってほしい。」との理想は上記の聖園学園短期大学の建学の精神として確立され、長い保育者育成の歴史を支えてきた本学教育活動の根幹として今日に至るまで脈々と引き継がれている。
2. 教育理念 本学では建学の精神に基づいて、「一人一人の幼児が人々に愛され、人間形成の大切な時期に幸せな人生となる基礎を培うための援助の知識と技能を身に付けさせること。」「幼子を特に愛されたキリストのみこころ心を自分の思いとし、思いやり、感謝、祈りの心が幼児のうちに育つよう、自らが努力する姿勢や態度を育成すること。」を教育理念として掲げている。
3. 教育目的 カトリックの精神に基づき真理を求め、人を愛して生きる人生観を基礎として、高度な教養と幼児教育者として必要な知識と技能を授けることを目的とする。
4. 教育目標 建学の精神及び教育基本法の理念に基づき、保育者として社会に貢献する人材を育成するために、次に掲げる目標を達成するよう努める。 ①キリストの教えに基づいて、一人一人がかげがえのない存在であることを認識し、自己と他者を大切にできる人を育成する。 ②子どもの健やかな成長・発達の援助者に必要な専門的・実践的な知識や技能を身に付けさせる。 ③学生が心身ともに健康で、よき社会人として自立し活動していけるようにコミュニケーション力や問題解決力を育てる。 ④変化する社会に関心をもち、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度や保護者や地域のニーズに応えようとする姿勢を培う。

<p>⑤自然や文化に親しみ、豊かな人間性や感性を養う。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：HP上 (www.misono-jc.ac.jp/kengaku.htm#01) での公表)</p>
<p>(概要) 本学の保育者養成を第一義とする建学の精神に鑑み、必要な単位を取得し、下記の要件に備えるに至ったと認められる者に対し、定められた学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間の尊厳を大切にし、他者の立場に立って考え行動する力を身に付けている。 2) 幼児教育に対する意欲と使命感、探究心を備えている。 3) 子どもの成長や発達等の保育に関する専門的・実践的な知識を修得している。 4) 子どもの健やかな成長を支え、子どもにかかわる様々な問題を解決するために必要な技能や表現力等、実践的な能力を身に付けている。 5) 他者と協調・協働して物事に取り組むことができ、広く社会に貢献しようとする姿勢を身に付けている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：HP上 (www.misono-jc.ac.jp/kengaku.htm#01) での公表)</p>
<p>(概要) 本学の教育目標の達成と幼稚園二種免許状・保育士資格両方を取得できるように、以下のような視点で教育課程を編成・実施するとともに、評価・改善を図りながら教育課題の解決に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「建学の精神」を学ぶ科目をはじめとする基礎教養科目と幼児教育に関する専門科目を設定し、科目の教授内容や実習時期等に配慮した科目配列の順序性にしながら編成する。 2) 学習の質を高めるために、内容に応じてアクティブラーニングの手法の工夫や学習支援の充実を図る。 3) 全学協力体制のもとに、各教科の連携による実習事前・事後指導の充実と実習園等関係施設との連携を踏まえた学習による実践力の向上を図る。 4) 「キャリア教育」「諸行事」「地域貢献活動」等の多様な教育活動の展開を図り、豊かな感性やコミュニケーション力等の涵養に努める。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：入学者選抜実施要項及びHP上 (www.misono-jc.ac.jp/kengaku.htm#01) での公表)</p>
<p>(概要) キリスト教の愛の精神に基づき、将来の社会に貢献する保育者を育成するという本学の使命のもとに、次のような資質・能力を備えた人物を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 豊かな人間性と生命を尊重する気持ちを持ち、自分と同じように他者を大切にして社会の人々の幸福に寄与できる人 【豊かな人間性、生命の尊重、隣人愛、社会貢献】 2) 子どもに関わることに喜びと使命感を持ち、入学後も主体的に保育者になるために必要な資質・能力を高めようと努力する人 【子供に関わる喜びと使命感、主体性、学びの精神】 3) 入学後の学びの基盤となる基本的な知識及び技能を身につけている人 【基本的な知識及び技能】 4) 自分の持つ知識や技能を活用して課題について深く考察できる共に、周囲の人々と協力してその解決のために努力できる人 【課題考察力（思考力・判断力・表現力）、協働力】

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：HP上 (<http://www.misono-jc.ac.jp/hoikuka.htm#06>) での公表

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
保育科	—	3人	5人	3人	1人	人	12人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		17人					17人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/hoikuka.htm#06)での公表					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業改善計画の作成、教員間による授業参観、教職員研修会の開催、授業評価							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育科	100人	96人	96%	200人	214人	107%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100人	96人	96%	200人	214人	107%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育科	122人 (100%)	2人 (1.6%)	118人 (96.7%)	2人 (1.6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	122人 (100%)	2人 (1.6%)	118人 (96.7%)	2人 (1.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
聖園学園短期大学附属聖園幼稚園、みそのベビー保育園ほか				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
保育科	128人 (100%)	122人 (95.3%)	1人 (0.8%)	5人 (3.9%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	128人 (100%)	122人 (95.3%)	1人 (0.8%)	5人 (3.9%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画は、当該年度の「授業概要（シラバス）作成マニュアル」に基づき各科目担当者が2月中旬までに作成する。</p> <p>作成した授業計画は、3月上旬に教職・教育課程委員会で科目担当者以外の第三者によるチェックを行い、必要に応じて修正する。</p> <p>作成した授業計画、新年度4月に学生に配布するとともにHP上で公表する。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価は、「聖園学園短期大学GPAに関する規程」に基づきGPAを算出し、学期毎に「個人GPA」と「学年のGPA平均値」を学生にフィードバックし自らの学修状況の把握を促すとともに保護者へも通知している。</p> <p>GPAの算出方法や活用方法などのGPAに関する規程は、学生便覧に記載し学期毎に学生に説明する機会を設け、十分な周知を行っている。</p> <p>また、GPAの分布状況を作成し、教職員間で共有し、成績評価の傾向を把握している。</p>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要な 単位数</th> <th>GPA制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>保育科</td> <td>62単位</td> <td>有・無</td> <td>50単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)		保育科	62単位	有・無	50単位			単位	有・無	単位			単位	有・無	単位			単位	有・無	単位
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)																					
	保育科	62単位	有・無	50単位																					
		単位	有・無	単位																					
		単位	有・無	単位																					
		単位	有・無	単位																					
GPAの活用状況（任意記載事項）	公表方法：学生便覧への記載及びHP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/regulations/03.pdf) での公表																								
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：																								

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学要覧、HP上 (http://www.misono-jc.ac.jp/shisetsu.htm) での公表
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育科	560,000 円	280,000 円	404,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 本学学生の生活支援は主に事務局学生課・厚生課と学年担任を中心とする教職協働体制で行われている。また、身体的・精神的な健康面については養護教諭の経歴を有する保健室職員が主に担当し、学生課や学年担任と連携しながら心身両面からの生活支援に当たっている。学生指導については教員が兼務する学生課長を中心に4名の教職員が分担し、かつ学年担任との連携を図りながら学生生活全般の指導や学生の自治活動・課外活動・学生会主催行事等に関することを広く支援している。厚生課にあつては、健康診断・奨学金・就職等に関することを総括し、職員(兼務・非常勤含む)が中心となって対応をしている。特に、就職支援にあつては保育業界の事情やこれまでの経緯等に精通している必要があることから担当経験の豊富な課長(職員)を中心に保育担当教員と進学担当教員各1名がサポートする体制をとっている。また、学生生活の安定・充実と学習成果の獲得は高い相関関係にあることに鑑み、教務課職員は履修状況や定期試験状況の確認、実習関連事務手続き、免許・資格申請事務の側面から学生支援にあたっている。さらに学年担任制をとっている本学にあつては、学業・学生生活・人間関係・進路等の問題について担任教員が学生の相談等に応じることも多く、学生が授業の合間に担任教員の研究室を訪れる姿は日常的な光景である。また記述の通り、平成26年度から導入している「ポートフォリオ」に関しては、全学生を対象に学長を含む全教員で分担して面談を行うとともに、生活や学習面及び進路・就職等についての相談を受けたり就職対策の面接指導をしたりするなど教職員全体で細やかに対応するようにしている。なお、学生に一身上の問題や重要な問題が生じた場合は、事案の特質や軽重に応じた対応をすることになるが、基本的には、各教員、担任(各学年3名)、職員で初期対応をし、さらに学内での共通理解のために調査結果をクラス担任から主担任へ、そして学生課長、学生部長、事務局長及び学長へという流れをたどりながら全教職員で対応し解決に導く体制をとっている。また、学生・教職員の携帯電話・メール連絡網を作成し、緊急時に備えている。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 本学学生のほとんどが卒業後の進路として就職を希望しているのがこれまでの実情である。就職支援のための教職員組織としては、職員を課長とする厚生課と保育担当教員を委員長とするキャリア教育委員会があり、相互に連携しながら就職活動全般を過不足なく支援できるような体制づくりをしている。特に、職員2名と教員1名からなる厚生課は関連施設・法人等への求人依頼や求人票の掲示をはじめとする情報提供、学生の求職登録票作成、就職相談、面接指導、就職試験対策等の用務及び事務的な用務を行うなど就職支援の中核を担っている。また、国や県の労働行政機関との情報交換にも努め、保育関係のみならず一般企業への就職希望にも対応できるよう広範な視点からの就職支援を行っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p>

(概要) 学生の心身の健康管理については主に厚生課・学生課教職員が保健室職員と連携しながら担当している。具体的には、毎年4月に全学生を対象とした定期健康診断(胸部レントゲン)、2年次5月には保健室職員と協力しながら校医による内科検診を実施している。また、保育科の重要な履修要件となっている教育実習や保育実習(施設実習を含む)のためには事前に流行性疾患(麻疹・耳下腺炎・水疱瘡)免疫検査とその予防接種及び腸内細菌検査(検便)が義務付けられていることから、健康管理の一環として厚生課職員が実習担当教員と連携しながらその対応を担っている。また、メンタルケアを含む日常的な健康管理用務には保健室職員の対応が大きな成果を挙げている。当該職員は月曜日から金曜日までの週5日間(一日6時間)勤務する非常勤職員で、養護教諭免許状を所持し、長年の小・中学校勤務経験を有するベテラン職員である。学生たちが学内で過ごすほとんどの時間帯に保健室に常駐しており、体調不良を訴えたり健康相談を望んだりして来室する学生にきめ細かな対応をしている。さらに、学生の相談内容を把握し、必要に応じて専門医療機関への紹介、付き添いなどを行っている。相談内容は内科系のものとそれに伴う学生の抱える様々な問題からの不定愁訴が多い。また当該職員と教員による保健委員会では各学年担任と連携をとりながら、健康相談の内容について協議し、適切な対応ができるように努めている。加えて、臨床心理士による心理カウンセリングも月2回実施している。臨床心理学を専門とする本学非常勤講師がカウンセラーとして個別の相談に対応している。なお、実施に当たっては、学生課・学年担任・保健室担当職員との連携により日常の保健室相談の延長上にこの心理相談を位置づけるなど、その効果を上げるように努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：HP上 (<http://www.misono-jc.ac.jp/hoikuka.htm#06>) での公表